

① 次の文が表す言葉を漢字で書きましよう。

① 来年の次の年のこと。

② 病気になった人やけがをした人を病院に運ぶ車。

③ かみの毛の生えぎわからまゆまでの間。

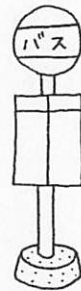


--

④ 木の根の上から枝や葉を出すところまでの太くて大事な部分。

--

⑤ 乗客の乗り降りのためにバスなどが止まる場所。



所

⑥ 人に差し出してわたすこと。宿題を〇〇する。

② 反対の意味の漢字を□から選んで組み合わせ、二字の熟語じゆくを作ってください。

減	往
夫	損
増	妻
復	

□	□
□	□

● 次の各文の中には、まちがった漢字の使い方をしてる部分が一か所ずつあります。その部分に——線を引き、（ ）に正しく書き直しましょう。

① 生徒を正しい方向へ道びく。

② となりの部屋から心よい音楽が流れてきた。

③ 兄は児童会の副会長を努めた。

④ となりの席から聞こえる一人言が気になった。

⑤ かれは政治家を心ざして東京へ行った。

⑥ 小学生がこの問題に正解する確立は非常に高い。

⑦ 太平洋を港海中に、大きなあらしにあった。

⑧ 学校の規測を破る。

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

漢字の広場①

名前

● 町の人に、出来事を伝える新聞記事を書きましょう。



句会

桜



山脈

文化財

仏像

歴史

保護



復旧

立ち入り禁止



耕す

肥料



改築



検証

事故

原因

① 音が同じで形もよく似た漢字は、とてもまちがえやすいものです。片仮名を正しく漢字に直して、□に書き入れましょう。

① ケン

体	□	危 <small>キ</small>
□	查	□

② セキ

□	成	面
任	□	□

③ ハン

□	夕	□
応	□	画

④ シキ

組	常
□	□

⑤ セイ

□	□
品	服

⑥ コウ

□	□
成	演会

⑦ ジュツ

手	□
□	語

⑧ フク

回	□
□	雑

⑨ ジュ

□	□
験	業

② 漢字のカードが虫に食われてしまいました。元の漢字はなんでしょう。分かったら、それらを組み合わせる二文字の熟語を五つ作りましょう。

□ □ □ □ □

● 思い浮かべた情景が伝わるよう、どこをどのように読むか書きましよう。

<p>読み方の工夫 読む速さ、声の大きさ、 間の取り方、声の高さ・明るさなど</p>	<p>想像した情景や筆者の思い</p>
<p>春の河 山村 暮鳥 <small>やまむら ぼちよう</small></p> <p>(たっぷり) たっぷりと</p> <p>春は</p> <p>小さな川々まで</p> <p>あふれてゐる^(い)</p> <p>あふれてゐる^(い)</p>	
<p>小景異情 室生 犀星 <small>むろう さいせい</small></p> <p>あんずよ</p> <p>花着け</p> <p>地ぞ早^はやに輝^{かが}やけ</p> <p>あんずよ花着け</p> <p>あんずよ燃えよ</p>	

● それぞれの場面で、「律」と「周也」はどんなことを考えていたでしょうか。

天気雨の後	天気雨の間	天気雨の前の帰り道	放課後の玄関口 ^{げん}	昼休み	場面
					律 考えていたこと、心情
					周也

わらぐつの中の神様

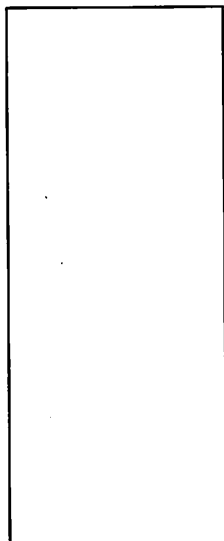
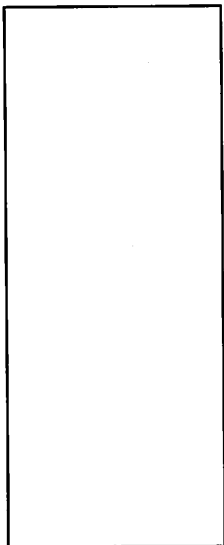
組・氏名

1 「わらぐつの中の神様」は、どんな構成になっていますか。



2 わらぐつに対する「マサエ」の見方は、どう変化していますか。

初め



終わり

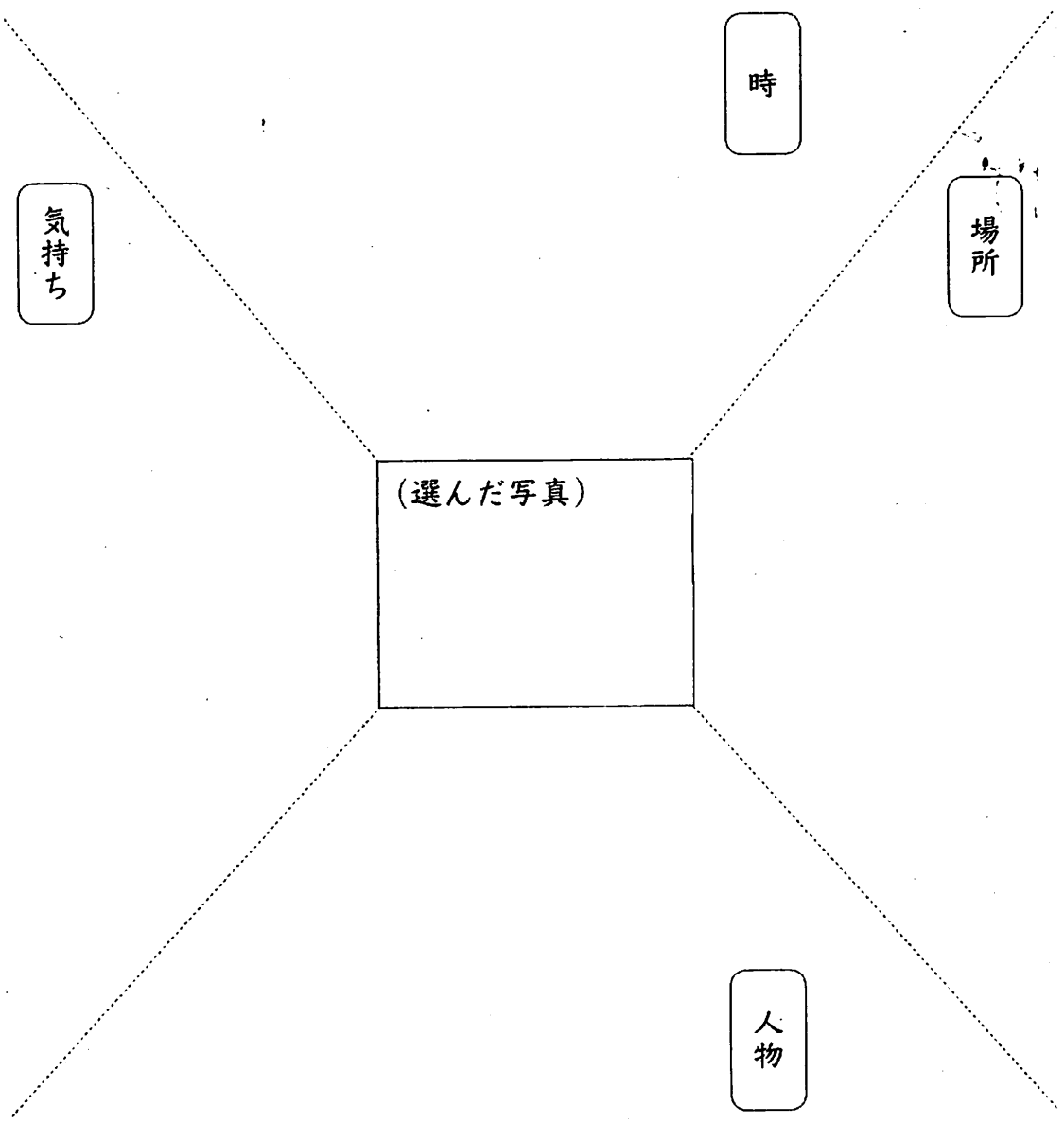
3 登場人物の人がらや物の見方・考え方が分かる文を書きぬき、それに対する自分の考えを書きましよう。

場面	1	2	3
人がらや物の見方・考え方が分かる文			
自分の考え			

一まいの写真から

組・氏名

① 選んだ写真から想像したことを、できるだけたくさん書き出しましょう。



② 書き出した言葉を見ながら、物語の設定を考えましょう。

時	場所	登場人物	出来事や事件

③教科書226・227を参考に、構成表を作りましょう

・題名

--

・どんな話か

--

・おおまかな構成を書いてみよう。

始まり	事件のきっかけから解決	結末

④表現を工夫して、物語をかいてみよう。
原稿用紙か自分の国語のノートに物語を書こう。